

大会名：第16回全日本レディースソフトボール大会 大阪予選会

準決勝

会場：泉南市 なみはやグラウンド

試合日：平成23年6月19日 No. 11

試合戦評 ひらしん 完封勝利で決勝戦へ !

ひらしんは、2回裏7番中西、8番吉田の連打で二死一塁、二塁続く9番公文代が雨でぬかるんだ投手前バンドでゆさぶり先制、ダブルスチールで2点目を挙げリード、4回にも3番松久の2点本塁打等で4点を追加、5回にも追加点を挙げ、5回コールドで昨年の屈辱をはらす意気込みで決勝戦に挑む。一方、鶴見WONDERは、1安打といい所なく、反撃の糸口もつかめないまま敗れた。

記載者 山口栄子

準決勝

No. 12

試合戦評 オールオオサカ 4番津本の一打で5年連続決勝へ !

オールオオサカは、3回清水の安打を足掛かりに、一死満塁とし津本の左中間二塁打で3点を先制し投手寺浦も5安打を許すが要所を締め逃げ切った。

一方箕面MAPLEも、1番竹友が3安打と頑張るが後1本が出ず1点にとどまった。天羽投手、オールオオサカ津本に投じた1球が悔やまれる試合であった。

記載者 新谷義弘

決勝

No. 13

試合戦評 ひらしん 3年ぶり優勝全国大会へ !

ひらしんは、1回3番松久、4番熊田、6番上中、の安打により1点、2回には8番吉田が四球で出塁、9番公文代が手堅く送りバント、その後西間、大西、松久、熊田の4連続安打により3点追加、試合の流れをつかむ。最終回に守備の乱れを付き2点、大阪代表の座を射止める。

一方オールオオサカは、なかなか波に乗りきれず4回に酒本、片桐の安打等で2点、5回にも宮崎酒本の安打により1点挙げるが反撃も一歩及ばなかった。

記載者 泉 恵美子